

# INCA を学ぶ

## Werner-Siemens-Schule にて、意欲的なエンジニアのための INCA 入門セミナー

「スロットバルブの正確なポジショニングがなぜ重要なのか？それを達成するために適合エンジニアとしてどんなツールを使えばいいのか？」シュトゥットガルト（ドイツ）の専門学校、Werner-Siemens-Schule の学生たちはそのようなさまざまな課題に取り組みました。それは、彼らのニーズに合わせて特別に企画された4日間のINCAセミナーでのことです。学生たちはEsslingen University of Applied Sciencesで専門技術を学ぶための準備として、メカトロニクスの速成コースを受講しているところでした。自動車メカトロニクス分野におけるこのような学習方法は「E-MobilityPlus」と呼ばれ、職業訓練と大学教育の二つの枠組が連携し合って行われます。

月曜日の朝8時、Werner-Siemens-Schule のエレクトロニクス研究室には18人の学生が着席していました。彼らはこれから、4日間のINCAセミナーを受講するのです。このセミナーはWerner-Siemens-Schule とETAS の長期的パートナーシップから生まれたもので、内容もスケジュールも、この学生たちのニーズに合わせて組まれていました。コースの開発者が特に留意したのは、理論と実践をバランスよく組み合わせることにより、学生に適合作業と適合ツールの初歩を少しずつ順序立てて身に付けさせることでした。一定時間ごとに休憩も挟み、学んだことを振り返る時間もたっぷり設けられました。理

論の講義の後には必ず実技の時間があります。学んだことをただちに应用してみることで知識をしっかりと刻み付け、各ステップをより明確に理解するためです。講師はそれぞれの作業の理論的背景も説明します。実務経験のあるエンジニアを対象とする従来型のセミナーとは違って、学生たちはまだ、適合のさまざまな側面がどのように互いに結びつくのかをよく理解できていないからです。ある作業をしようとするときに、なぜそういう手順を踏むのかという疑問について、自動車業界での使用事例をもとに説明と討論を行います。最後の実技試験では、どの学生も学んだ知識をもとにINCAで計測チェーンを作成し、MDA（計測データアナライザ）で計測評価を行うことができました。適切なツールとその操作のノウハウさえあれば、どちらも簡単なことなのです。

### 執筆者

Klaus Fronius, ETAS GmbH

マーケット・コンペティティブインテリジェンスグループ  
マネージャ兼大学連絡担当マネージャ

ETAS は、明日のエンジニアである若い世代へのサポートを大切にしています。  
このようなセミナーは未来への投資です。

Werner-Siemens-Schule の  
INCA セミナー

